

第12回宇宙開発委員会（定例会議）

議事次第

1. 日 時 平成11年3月24日（水）

11:00~

2. 場 所 科学技術庁 第2会議室

3. 議 題 (1) EOS-AM1の打上げ日について

(2) その他

4. 資 料 委12-1 EOS-AM1の打上げ日について

委12-2 第11回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）

EOS-AM1の打ち上げ日について

平成11年3月24日

通商産業省

1. 当省が開発したASTER（資源探査用将来型センサ）を搭載したNASAの衛星EOS-AM1（極軌道プラットフォーム衛星）の打ち上げ日については、平成10年11月18日の宇宙開発委員会において、NASA側の理由により1999年5月30日より早くはならない旨、報告したところ。
2. 今般、平成11年3月11日付で、NASA本部から当省宇宙産業企画官あてにレターが届き、衛星の打ち上げは1999年7月28日に計画された旨連絡があった。（別紙1、別紙2参照）
3. なお、今後NASAにおいて打ち上げ日の変更があった場合には、改めて宇宙開発委員会において御報告申し上げることとしたい。

National Aeronautics and
Space Administration
Headquarters
Washington, DC 20546-0001



Reply to Attn of:

TY

MAR 11 1999

Mr. Ryo Imoto
Director, Office of Space Industry
Machinery and Information Industries Bureau
Ministry of International Trade and Industry
1-3-1 Kasumigaseki
Chiyoda-ku, Tokyo
Japan

Dear Mr. Imoto:

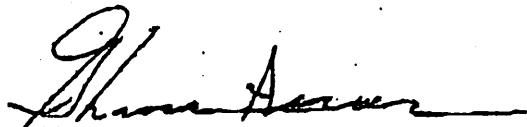
As part of NASA's internal mission planning for the launch of Terra, formally known as the Earth Observation System (EOS) AM-1 mission, NASA recently convened a Flight Planning Board meeting to review and confirm the proposed launch date for Terra. As a result of this meeting, I am pleased to inform you that NASA has established a planned launch date for the Terra spacecraft of July 28, 1999. This new launch date will be made public shortly. As currently envisaged, the Terra spacecraft will be launched on an Atlas-IIAS expendable launch vehicle from Space Launch Complex-3 East at the Vandenberg Air Force Base in Lompoc, California. Although July 28, 1999, has now been established as the planned launch date for this mission, the spacecraft and launch teams have committed to continue to work toward a potential earlier launch on July 15, 1999.

As with any mission of this type, a variety of factors could impact the planned launch date. Therefore, as we continue final launch preparations, I will plan to keep you fully informed of any potential schedule changes through the normal mission management process or through NASA's Representative in Tokyo.

NASA greatly appreciates the strong support of your Ministry in the development of the Advanced Spaceborne Thermal Emission and Reflection Radiometer (ASTER) instrument. Continuation of this support for the ASTER Team at Valley Forge,

the launch site and the control center is critical to the success of Terra. With Terra's successful launch later this year, I look forward to seeing the exciting high-resolution images ASTER will provide to the global change research community.

Sincerely,



Ghassam R. Asrar
Associate Administrator for
Earth Science

(仮訳)

米国航空宇宙局本部
ワシントン市20546-0001

1999年3月11日

通商産業省
機械情報産業局
宇宙産業課長 井元 良 様

拝啓 井元様

地球観測システム（EOS）AM-1（通称 テラ）の打ち上げに関するNASA内部の宇宙飛行計画の一部として、NASAはテラの打ち上げ提案日を検証し確定するために先頃、飛行計画委員会会議（Flight Planning Board meeting）を召集した。この会議の結果として、NASAがテラ宇宙機の打ち上げ日を1999年7月28日に計画したことをお伝えします。この新しい打ち上げ日は早々に公表されるでしょう。現在のところ、テラ宇宙機はカリフォルニアのロンポックにあるバンデンバー空軍基地のスペースロウンチコンプレックス3東からアトラスIIASロケットにより打ち上げられる予定です。1999年7月28日に打ち上げを予定していますが、宇宙機及び打ち上げチームは1999年7月15日というより早い打ち上げ日の設定のもと準備を行っています。

このようなミッションにおいては、様々な要因が計画された打ち上げ日に影響を与えます。それ故、私たちが最終的な打ち上げへの準備を続ける一方、スケジュール変更の可能性がある場合は、通常のミッション・マネージメントの手順もしくは、NASAの東京代表を通じお知らせ致します。

NASAはASTERの開発において通商産業省が強力に支援していることを非常に評価している。打ち上げ場所やコントロールセンターのあるバレーフォージのASTERチームを引き続き支援することは、テラの成功にとって重大です。今年テラの打ち上げが成功することにより、私は地球上の変化を研究する団体にASTERが供給するであろうエクサイティングな高分解能の画像を見る樂しみにしています。

敬具
地球観測担当行政官
ガッセム・R・アスラー

**第11回宇宙開発委員会（定例会議）
議事要旨（案）**

1. 日 時 平成11年3月17日（水）
14:00～15:00
2. 場 所 委員会会議室
3. 議 題 (1) 米国航空宇宙局（NASA）の2000会計年度予算について
 (2) 国連宇宙空間平和利用委員会法律小委員会第38会期の結果について
 (3) その他
4. 資 料 委11-1 米国航空宇宙局（NASA）の2000会計年度予算について
 委11-2 国連宇宙空間平和利用委員会法律小委員会第38会期の結果について
 委11-3 第10回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨（案）

5. 出席者

宇宙開発委員会委員長代理
宇宙開発委員会委員

"

"

長秋 喜一郎
葉松 鎌二郎
末澤 安晴
澤田 茂生

関係省庁

通商産業省機械情報産業局次長
郵政大臣官房技術総括審議官

林 良造（代理）
甕 昭男（代理）

事務局

科学技術庁研究開発局長
科学技術庁長官官房審議官
科学技術庁研究開発局宇宙政策課長

池中 佐市夫
澤橋 英他

6. 議 事

- (1) 米国航空宇宙局（NASA）の2000会計年度予算について
宇宙開発事業団より、米国航空宇宙局（NASA）の2000会計年度予算について、報告があった。（資料委11-1 参照）
- (2) 国連宇宙空間平和利用委員会法律小委員会第38会期の結果について
科学技術庁より、国連宇宙空間平和利用委員会法律小委員会第38会期の結果について、報告があった。（資料委11-2 参照）
- (3) その他
宇宙開発委員会における技術評価のあり方について、委員の間で議論があり、技術評価部会で顕著な成果についても評価を行ってもらうこと、その方法等詳細な事項については、部会の判断にゆだねることが合意され、委員長代理より部会長に申し伝えることとなった。
また、事務局より、第10回宇宙開発委員会（定例会議）議事要旨について説明があった後、原案通り了承された。（資料委11-3 参照）

以 上